8　芸術（書道）

| 学校番号 | １００８ |
|---|---|

# 令和３年度　芸術科（書道）

| 教科 | 芸術 | 科目 | 書道Ⅰ | 単位数 | １単位 | 年次 | ２年前期 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 書Ⅰ　　（光村図書） | | | | | | |
| 副教材等 | | | | | | | |

## 1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・小学校、中学校の書写の授業で学んだことを発展させて、芸術科書道では用具用材の違いによる表現の違い等を学びましょう。
・篆隷行草から楷書に至るまで様々な書体を体験し、筆の弾力を使いこなし、自分らしい文字を書くことが出来るようになることをめざします。
・身近に飾れる作品を作ることで達成感を味わい、書を愛好する心情を育てます。

## 2　学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。

## 3　学習評価(評価規準と評価方法)

| 観点 | a:書への関心・意欲・態度 | b:書表現の構想と工夫 | c:創造的な書表現の技能 | d:鑑賞の能力 |
|---|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。 | 書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。 | 創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身に付け表している。 | 日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。 |
| 評価方法 | 観察<br>レポート<br>ワークシート<br>ポートフォリオ | 観察<br>レポート<br>ワークシート<br>ポートフォリオ<br>提出作品 | 観察<br>レポート<br>ワークシート<br>ポートフォリオ<br>提出作品 | 観察<br>レポート<br>ワークシート<br>ポートフォリオ<br>提出作品 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学期末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４ 学習の活動

| 月 | 題材名 | 学習内容・活動 | 主な評価の観点 | | | | 単元（題材）の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | a | b | c | d | | |
| 4 | 漢字の書 | 草書の学習<br>草書の特徴<br>草書の古典作品<br>「真草千字文」<br>・ | ○ | | ○ | ○ | a： 草書が身の回りのものに使われていろことに興味を持ち、今後の学習に意欲を取り組もうとしている。<br>b：草書の基本的な用筆方法を理解し、表現を工夫している。<br>c：筆使いや線の太さ、運筆法を理解し、表現を工夫している。<br>d：特徴を理解し、草書のよさを味わっている。 | 観察<br>レポート<br>ワークシート<br>ポートフォリオ<br>提出作品 |
| 5<br>6 | 漢字の書（古典を生かして書こう） | ・書く言葉を選定<br>・書体や書風を選定<br>・試作を重ね、作品を仕上げる。<br>・鑑賞 | ○ | ○ | | ○ | a：文字の選定、作品の構想、完成に至る創作活動について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている<br>b：各書体のよさを感じ取り、作品の意図を明確にし表現を工夫している。<br>c：作品の意図を明確にするための表現の技能を身に付け表している。<br>d：互いの作品を鑑賞し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。 | 観察<br>レポート<br>ワークシート<br>ポートフォリオ<br>提出作品 |
| 6<br>7<br>8 | 仮名の書 | ・仮名の成立と変遷<br>・文字の造形<br>古筆に見る仮名の表現方法<br>・仮名の基本的な筆使い<br>・平仮名<br>・変体仮名<br>・連綿 | | ○ | | ○ | a：墨色について関心を持ち、積極的に表現技法を高めようとしている。<br>b： 一番省略された用筆法や単純化された平仮名の筆使いについて理解し、表現を工夫している。<br>c：平仮名の単純化された筆使いを身に付け表現している。<br>d：墨色は黒一色ではないことを理解し、そのよさを味わっている。 | 観察<br>レポート<br>ワークシート<br>ポートフォリオ<br>提出作品 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 漢字仮名交じりの書 | ・伝達から表現へ<br>・イメージを文字で表現する<br>・用具・用材を使って表現する(紙・墨・筆) | ○ | ○ | | ○ | a:漢字仮名交じりの書で創作・表現することに関心を高めている。<br>b:伝達や表現などさまざまな目的で書かれたことを理解し、目的に応じた表現の特徴を把握している。<br>c:古典や古筆を通して学習した書体・書風を適切に生かし、創作の喜びを味わっている。<br>d:題材から連想するイメージの違いや表現の工夫によって、多彩な書の表現が生まれることを理解し、そのよさを味わっている。 | 観察<br>レポート<br>ワークシート<br>ポートフォリオ<br>提出作品 |

※　表中の観点について　a:書への関心・意欲・態度　　b:書表現の構想と工夫
　　c:創造的な書表現の技能　　d:鑑賞の能力

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。